

【 まちの将来像3 】

みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-1	生涯学習の機会を増やし情報提供を充実する
施策の方向性	本市の生涯学習に関する取組の基本となる計画を策定するとともに、市民、行政、教育機関などの連携により、社会的な課題や市民ニーズに対応した多様な学習の場や機会、情報などを提供し、市民の主体的な生涯学習活動を促します。 社会教育については、学校教育との連携を図りながら、これからの時代に求められる成人教育や、公民館活動の推進、図書館の機能の充実を図ります。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	生涯学習推進体制の整備
	2	生涯学習についての普及啓発の推進
	3	成人教育の推進
	4	公民館活動の推進
	5	図書館サービスの充実
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-1-1	生涯学習推進体制の整備													
1	事業名	生涯学習センターきらめき講座等実施事業													
	目的及び概要	生涯学習に取り組む市民を支援するとともに活動の充実・向上を図るため、生涯学習センターにおいて講座、きらめきホール事業等を実施する。				H29年度	内容	①きらめき、ジュニア、ボランティア講座の実施 ②ホール事業の実施 ③市内大学等連携講座の実施 ④おおさかふみんネット広域講座の実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	69.4	うち市負担分(百万円)	30.7	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
2	事業名	生涯学習参画事業													
	目的及び概要	個人や団体が培った知識・経験を広く還元できる場を提供し、学習成果を活かした幅広いジャンルの学習参画機会を展開する。 【3-1-2生涯学習についての普及啓発の推進】				H29年度	内容	①ボランティア講座の講師募集 ②各種コンサートの出演者公募 ③きらめきフェスタの実施 ④TAIKOピエンナーレの実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.9	うち市負担分(百万円)	0.9	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
3	事業名	生涯学習推進事業													
	目的及び概要	市の生涯学習施策を総合的により一層推進していくための方策について検討する。 【関連取組:3-1-2 生涯学習についての普及啓発の推進】				H29年度	内容	①生涯学習事業の洗い出し・実態の把握の内容を基に、振り返り・検証 ②市民意識調査の実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	天文観覧室運営事業									
	目的 及び 概要	H 29 年度	内 容	①市立小・中学校、広報誌、市ホームページでの啓発 ②プラネタリウム投影や市民天体観望会等の実施 ③オリジナル番組の制作						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	11.2	うち市負担分 (百万円)	10.7	H30 年度	継続
										H31 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続	
									H33 年度	継続	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-1-2	生涯学習についての普及啓発の推進									
5	事業名	生涯学習センター情報提供等実施事業									
	目的 及び 概要	H 29 年度	内 容	①生涯学習事業を集約した情報誌の発行 ②出前講座の実施 ③広報誌・市ホームページでの啓発 ④生涯学習関連の窓口相談						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	2.0	うち市負担分 (百万円)	1.9	H30 年度	継続
										H31 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続	
									H33 年度	継続	
6	事業名	【再掲】生涯学習参画事業									
	目的 及び 概要	H 29 年度	内 容	①ボランティア講座の講師募集 ②各種コンサートの出演者公募 ③きらめきフェスタの実施 ④TAIKOピエンナーレの実施 【3-1-1 生涯学習推進体制の整備】						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.9)	うち市負担分 (百万円)	(0.9)	H30 年度	継続
										H31 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続	
									H33 年度	継続	
7	事業名	【再掲】生涯学習推進事業									
	目的 及び 概要	H 29 年度	内 容	①生涯学習事業の洗い出し・実態の把握の内容を 基に、振り返り・検証 ②市民意識調査の実施 【関連取組:3-1-1 生涯学習推進体制の整備】						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H30 年度	継続
										H31 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続	
									H33 年度	継続	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組	3-1-3		成人教育の推進										
8	事業名	社会教育事業						事業の方向性の見込み(対前年度比)					
	目的及び概要	知識の習得とともに自らの学習と実践を通じて自主的活動の充実と地域の連帯意識を高めることを目的に、各種講習会などを開催する。 【関連取組:2-4-2 学校・家庭・地域の連携の推進】		H29年度	内容	①民謡踊り講習会の開催 ②識字・日本語教室の開講 ③青年による人権啓発事業の開催		H30年度	継続				
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	3.3	うち市負担分(百万円)	3.3	H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
9	事業名	社会教育関係団体育成事業						事業の方向性の見込み(対前年度比)					
	目的及び概要	社会教育関係団体の活動を促進し、社会教育の振興を図る。 社会教育関係団体等を対象としたリーダー研修、後援等により支援する。		H29年度	内容	①社会教育関係団体等リーダー研修会の開催 ②団体が行う事業への後援 ③後援事業チラシ等の庁内設置 ④茨木のこどもを守る運動への支援		H30年度	継続				
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.4	うち市負担分(百万円)	0.4	H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
10	事業名	【再掲】家庭教育支援事業						事業の方向性の見込み(対前年度比)					
	目的及び概要	家庭教育を支援するために学校と連携しながら、保護者同士が交流し学びあう家庭教育学級の開設や、家庭教育セミナー等学習機会の提供等を行う。 【関連取組:2-4-2 学校・家庭・地域の連携の推進】		H29年度	内容	①家庭教育セミナーの開催 ②保護者のための講座の開催 ③親学習支援者フォローアップ研修の開催 ④親まなびおでかけ講座の開催 ⑤家庭教育学級の委託開設 ⑥家庭教育学級指導者研修会の開催 ⑦親学習支援者養成講座の開催		H30年度	継続				
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(2.8)	うち市負担分(百万円)	(2.2)	H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

取組	3-1-4		公民館活動の推進										
11	事業名	小学校区公民館講座等実施事業						事業の方向性の見込み(対前年度比)					
	目的及び概要	各公民館において、社会教育の場として、地域住民のニーズに対応した文化、スポーツなどの講座等を開催し、住民の主体的な学習活動を支援する。 現代的課題、地域課題について、地域の状況に合わせた取り組みを進める。		H29年度	内容	①公民館講座の開催 ②講習会の開催 ③生活教育講座の開催 ④講演会の開催 ⑤現代的課題、地域課題に対する講習会等の実施		H30年度	継続				
						方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	16.3	うち市負担分(百万円)	8.5	H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

12	事業名	公民館区事業補助事業											
	目的 及び 概要	地域住民の主体的な学習活動や地域活動を促進し、もって地域住民の生活文化の振興を図るため、補助金を交付する。	H 29 年度	内 容	①ふるさとまつり、文化展(祭)、地域レクリエーション、館報発行事業に対して補助金を交付 ②地域活動にとってより活用しやすいものとするため、地域行事開催等事業補助へ移行を進める。なお、今年度は三島、沢池、彩都西が移行(移行7館)						事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					H30年度	継続	事業費(百万円)	7.9	うち市負担分(百万円)	7.9	H30年度	継続	
					H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
13	事業名	中央公民館講座実施事業											
	目的 及び 概要	社会教育の観点から、市民の学習機会の充実を図るため、生涯学習センターを活用した少人数での学習体制による日本語読み書き学級や市民ニーズに対応する講座を開催するほか、現代的な課題、地域課題に応じた事業にも取り組む。	H 29 年度	内 容	①日本語読み書き学級の実施 ②中央公民館としての役割を明確にし、現代的課題、地域課題に応じた事業推進について、各公民館と検討、調整の実施。						事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					H30年度	継続	事業費(百万円)	1.1	うち市負担分(百万円)	1.1	H30年度	継続	
					H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
14	事業名	公民館エレベーター設置事業											
	目的 及び 概要	高齢者や身障者等全ての利用者にとって、より利用しやすい施設とするために、エレベーターを設置し、バリアフリー化を図る。	H 29 年度	内 容	①設置工事(1館) ②実施設計(1館)						事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					H30年度	継続	事業費(百万円)	66.4	うち市負担分(百万円)	66.4	H30年度	継続	
					H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ハード					
15	事業名	小学校区公民館維持補修事業											
	目的 及び 概要	小学校区単位での住民等の主体的な学習活動を支援し、生活の向上と文化の振興に寄与するため、学習機会、情報の提供を行う。そのため公民館施設の利用者が安全で快適な施設利用ができるよう、また、施設の長寿命化を図るため、維持補修に努める。	H 29 年度	内 容	①各公民館施設の維持、補修の実施 ②空調設備改修の実施 ③屋上防水・外壁塗装工事実施						事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					H30年度	継続	事業費(百万円)	78.5	うち市負担分(百万円)	78.5	H30年度	継続	
					H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組	3-1-5		図書館サービスの充実							
16	事業名	資料情報収集提供事業								
	目的及び概要	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的に、図書、視聴覚資料、データベース等記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に提供する。また読書案内やレファレンス・サービス(調べもの支援)などで、利用者と必要な資料を結びつける。	H29年度 内容	①資料・情報を広く収集し、適正に管理保存し、利用者に提供を行う ②読書案内やレファレンスサービスを積極的に行い、利用者と必要な資料・情報をつなげる ③音訳・点訳・対面朗読・郵送サービス等を行い、様々な形で資料・情報提供を行う ④分館でも商用データベース、国会図書館デジタル送信サービスの利用を開始し、利用者の利便性の向上を図る	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
					H30年度	継続				
					H31年度	継続				
					H32年度	継続				
					H33年度	継続				
			方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	175.9	うち市負担分(百万円)	175.9	H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
17	事業名	図書館利用促進事業								
	目的及び概要	より多くの市民に利用してもらい、利用者の教養、レクリエーション等に資することを目的に、市民との協働によりさまざまな行事や取り組みを行うとともに、市民の利便性の向上のため、サービス拠点の充実など、図書館サービス網の整備を行う。	H29年度 内容	①ボランティアと協働で、全館で行事・取り組みを行う(人形劇・工作等行事、ライブラリフェスティバル、移動図書館を活用したイベント参加など) ②図書館職員による市民向け講座などを実施する ③図書館サービス網の整備及び拠点の充実について検討を行う ④北摂地区7市3町での広域利用を開始する	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
					H30年度	継続				
					H31年度	継続				
					H32年度	継続				
					H33年度	継続				
			方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	13.4	うち市負担分(百万円)	13.4	H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
18	事業名	読書推進事業								
	目的及び概要	市域全体で乳幼児から高齢者まで、物語や読書を楽しむことができるよう、学校や関係施設、関係課と連携し、環境を整備・機会の提供を行い、読書活動を推進する。	H29年度 内容	①第2次茨木市子ども読書活動推進計画に沿った取組を行う ②図書館・学校等ではおはなし会を実施 ③職場体験・図書館見学を受け入れ学校との連携を図る ④高齢者施設や図書館で朗読会を実施 ⑤成人の読書活動推進 ⑥乳幼児の保護者および小・中学生等に読書活動のアンケート調査を実施し、現状を把握する	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
					H30年度	継続				
					H31年度	継続				
					H32年度	継続				
					H33年度	継続				
			方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	33.5	うち市負担分(百万円)	33.5	H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
19	事業名	図書館ICT事業								
	目的及び概要	ICタグの導入による資料管理の効率化やホームページの充実、Wi-Fi環境の整備などを行い、市民の利便性の向上を図るとともに、情報・資料へのアクセスを容易にする環境づくりを行う。	H29年度 内容	①時代とともに変化するICTの活用を検討	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
					H30年度	継続				
					H31年度	継続				
					H32年度	拡充				
					H33年度	継続				
			方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	73.2	うち市負担分(百万円)	73.2	H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト	

20	事業名 図書館営繕事業									
	目的 及び 概要	利用者の安全性の確保及び施設の長寿命化を図る。 老朽化している図書館の改修を行い、利用者が安心して利用できる施設の維持を行う。			H 29 年 度	内容 ①市のマネジメント指針にそって、計画的に改修工事を検討する ②中央図書館 東側エレベーター設計			事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
									H30 年度	継続
									H31 年度	継続
									H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	3.2	うち市負担分 (百万円)	3.2	H33 年度	継続		
担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ハード		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-2	みんなが楽しめるスポーツ活動を推進する
施策の方向性	スポーツ関係団体等と連携し、健康増進・生きがいづくりのイベント、スポーツ教室等を開催するとともに、各自の興味や年齢、体力、技能等に応じて、誰もが気軽に生涯スポーツに親しむことができる環境を整えます。また、本市のスポーツ推進に関する取組の基本となる計画を策定します。 地域スポーツ等の活動・運営を支える人材の育成や互いに協力しあえるネットワークを構築します。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	多様な生涯スポーツ活動の推進
	2	スポーツ関係団体や指導者の育成
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-2-1	多様な生涯スポーツ活動の推進													
1	事業名	生涯スポーツ推進事業													
	目的及び概要	スポーツ推進計画に基づき、すべての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現と市民の健康づくりのため、スポーツ機会の充実を図る。				H29年度	内容	①競技大会等イベントの実施 (平成29年度競技種目の見直し) ②用具の貸し出し ③スポーツ教室・講習会の実施 (平成29年度かけっこ、ウォーキングを追加) ④スポーツに関する情報の発信 (平成29年度:総合型地域スポーツクラブやスポーツ大会などに関する情報発信の充実)				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
												H30年度	継続		
												H31年度	継続		
												H32年度	継続		
								方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	21.0	うち市負担分(百万円)	20.1	H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
2	事業名	スポーツ施設管理運営事業													
	目的及び概要	スポーツ推進計画に基づき、市民が、市民体育館・プール・忍頂寺スポーツ公園及び運動広場等において、スポーツ・レクリエーション活動を行うことにより、体力の向上と健康の増進を図る。				H29年度	内容	①体育館・プール・忍頂寺スポーツ公園及びグラウンド、テニスコートの利用等の管理				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
												H30年度	継続		
												H31年度	継続		
												H32年度	継続		
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	493.0	うち市負担分(百万円)	325.2	H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
3	事業名	運動広場等営繕事業													
	目的及び概要	スポーツ推進計画に基づき、高齢者や障害者が利用しやすくなるよう、施設の附帯設備を整備する。 福井市民体育館の敷地内に、運動広場等利用者用の多目的トイレを新設する。				H29年度	内容	①設置設計委託の実施 ②埋蔵文化財調査の実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
												H30年度	継続		
												H31年度	-		
												H32年度	-		
								方向性(対前年度比)	新規	事業費(百万円)	3.0	うち市負担分(百万円)	3.0	H33年度	-
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組		3-2-2	スポーツ関係団体や指導者の育成									
4	事業名	スポーツ団体・指導者育成事業										
	目的 及び 概要	スポーツ推進計画に基づき、地域スポーツの推進やスポーツを支える人材の育成、スポーツ関係団体や老人クラブ等の地域に根ざして活動する団体、大学、企業等、関係団体との連携・協働により生涯スポーツ環境の充実を図る。	H 29 年 度	内 容	①指導者講習会・研修会の実施 (平成29年度追加) ②推進委員活動の支援					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
										H30 年度	拡充	
										H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	9.9	うち市負担分 (百万円)	9.9	H32 年度	継続					
担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する
施策の方向性	文化振興ビジョンに基づき、市民の主体的な文化活動や交流を支援するとともに、子どもたちへの多様なアプローチを進めるなど、新しい担い手の発掘と育成を図ります。また、歴史遺産の保存と活用を推進し、拠点施設の機能充実を図り、市民の郷土愛を育むことで、歴史文化遺産を発展的に継承します	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	市民との協働による文化のまちづくり
	2	★ 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり
	3	★ 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成
	4	★ 歴史遺産の保存・継承
	5	郷土への愛着心とブランド形成
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-3-1	市民との協働による文化のまちづくり	
1	事業名	文化芸術振興補助事業	
	目的及び概要	<p>伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組を行う事業に対し、経費の一部を補助する。</p> <p>【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】</p> <p>【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】</p> <p>【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】</p>	<p>H29年度</p> <p>内容</p> <p>①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付</p>
		<p>事業の方向性の見込み(対前年度比)</p> <p>H30年度 継続</p> <p>H31年度 継続</p> <p>H32年度 継続</p> <p>H33年度 継続</p>	<p>方向性(対前年度比) 継続 事業費(百万円) 0.8 うち市負担分(百万円) 0.8</p>
	担当課	<p>部名 市民文化部</p> <p>課名 文化振興課</p>	<p>会計区分 一般</p> <p>事業区分 ソフト</p>
2	事業名	【再掲】文化振興事業	
	目的及び概要	<p>文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。</p> <p>【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】</p> <p>【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】</p> <p>【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】</p>	<p>H29年度</p> <p>内容</p> <p>①美術展等の各種文化事業の開催</p> <p>②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携</p> <p>③立命館いばらきフューチャープラザグランドホールを利用する事業に補助金を交付</p> <p>④子ども対象の体験型芸術講座の開催</p>
		<p>事業の方向性の見込み(対前年度比)</p> <p>H30年度 継続</p> <p>H31年度 継続</p> <p>H32年度 継続</p> <p>H33年度 継続</p>	<p>方向性(対前年度比) 拡充 事業費(百万円) (104.7) うち市負担分(百万円) (104.7)</p>
	担当課	<p>部名 市民文化部</p> <p>課名 文化振興課</p>	<p>会計区分 一般</p> <p>事業区分 ソフト</p>
3	事業名	【再掲】吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業	
	目的及び概要	<p>本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽文化の向上を図る。</p> <p>【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】</p> <p>【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】</p>	<p>H29年度</p> <p>内容</p> <p>①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開催</p>
		<p>事業の方向性の見込み(対前年度比)</p> <p>H30年度 継続</p> <p>H31年度 継続</p> <p>H32年度 継続</p> <p>H33年度 継続</p>	<p>方向性(対前年度比) 継続 事業費(百万円) (3.4) うち市負担分(百万円) (3.4)</p>
	担当課	<p>部名 市民文化部</p> <p>課名 文化振興課</p>	<p>会計区分 一般</p> <p>事業区分 ソフト</p>

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	【再掲】市立ギャラリー運営事業										
	目的及び概要	美術作品を展示することにより市民の美術に関する創作及び鑑賞活動を促進し、美術を通じて市民文化の振興を図る。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】				H29年度	内容	①ギャラリーの運営及び企画展の開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(5.8)	うち市負担分(百万円)	(2.1)	H30年度	継続
											H31年度	継続
											H32年度	継続
											H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
5	事業名	【再掲】芸術を活用したまちづくり推進事業										
	目的及び概要	住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。 また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H29年度	内容	①アートプロジェクトの実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(3)	うち市負担分(百万円)	(3)	H30年度	継続
											H31年度	継続
											H32年度	継続
											H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-3-2	★文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり										
6	事業名	福祉文化会館・市民総合センター運営事業										
	目的及び概要	市民福祉の増進及び文化教養の向上を図り、文化団体や文化振興財団が文化芸術に関する事業を実施する拠点となる施設を運営する。 文化芸術施設の建設等については、引き続き検討する。				H29年度	内容	①2館の維持管理及び指定管理				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	231.9	うち市負担分(百万円)	206.9	H30年度	継続
											H31年度	継続
											H32年度	継続
											H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
7	事業名	市立ギャラリー運営事業										
	目的及び概要	美術作品を展示することにより市民の美術に関する創作及び鑑賞活動を促進し、美術を通じて市民文化の振興を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】				H29年度	内容	①ギャラリーの運営及び企画展の開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	5.8	うち市負担分(百万円)	2.1	H30年度	継続
											H31年度	継続
											H32年度	継続
											H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		

8	事業名	◎ まちなかアートツアー										
	目的 及び 概要	市内に設置されている彫刻や絵画等の芸術作品を市民に知ってもらうことにより、文化芸術を身近に感じてもらう機会とするため、「まちなかアートツアー」を実施する。	H 29 年度	内容	①市内のアートマップを活用し、市内の芸術作品を巡って鑑賞する「まちなかアートツアー」を実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					H30 年度	継続					継続	
					H31 年度	継続					継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H32 年度	継続	H33 年度	継続			
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
9	事業名	富士正晴記念館事業										
	目的 及び 概要	寄託を受けた郷土の作家である富士正晴氏に関する資料の収集・整理・保存を行い、資料整理報告書の刊行や、整理資料の公開、講演会(年1回)を実施する。	H 29 年度	内容	①富士正晴氏に関する資料の収集・整理・保存・報告書の作成 ②富士正晴の絵はがき販売 ③ミュージアムネットワークへの参加、川端康成文学館との連携により、記念館の周知 ④講演会の開催 ⑤企画展の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					H30 年度	継続					継続	
					H31 年度	継続					継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.0	うち市負担分 (百万円)	2.0	H32 年度	継続	H33 年度	継続			
担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
10	事業名	【再掲】文化振興事業										
	目的 及び 概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】	H 29 年度	内容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホールを利用する事業に補助金を交付 ④子ども対象の体験型芸術講座の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					H30 年度	継続					継続	
					H31 年度	継続					継続	
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(104.7)	うち市負担分 (百万円)	(104.7)	H32 年度	継続	H33 年度	継続			
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
11	事業名	【再掲】吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業										
	目的 及び 概要	本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽文化の向上を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】	H 29 年度	内容	①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					H30 年度	継続					継続	
					H31 年度	継続					継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(3.4)	うち市負担分 (百万円)	(3.4)	H32 年度	継続	H33 年度	継続			
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

12	事業名	【再掲】文化芸術振興補助事業													
	目的及び概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組みを行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H29年度	内容	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.8)	うち市負担分(百万円)	(0.8)	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
13	事業名	◎【再掲】芸術を活用したまちづくり推進事業													
	目的及び概要	住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。 また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H29年度	内容	①アートプロジェクトの実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(3)	うち市負担分(百万円)	(3)	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-3-3	★ 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成													
14	事業名	吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業													
	目的及び概要	本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽文化の向上を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】				H29年度	内容	①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	3.4	うち市負担分(百万円)	3.4	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
15	事業名	◎ 文化振興事業													
	目的及び概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H29年度	内容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホールを利用する事業に補助金を交付 ④子ども対象の体験型芸術講座の開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	104.7	うち市負担分(百万円)	104.7	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	◎【再掲】芸術を活用したまちづくり推進事業												
	目的及び概要	住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。 また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H29年度	内容 ①アートプロジェクトの実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(3)	うち市負担分(百万円)	(3)	H30年度	継続
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
17	事業名	【再掲】文化芸術振興補助事業												
	目的及び概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組みを行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H29年度	内容 ①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.8)	うち市負担分(百万円)	(0.8)	H30年度	継続
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
18	事業名	川端康成文学館運営事業												
	目的及び概要	多くの市民に川端文学に親しんでもらう拠点として、川端康成ゆかりの資料の展示を行うことにより、教養を高め、市民文化の向上に寄与する。 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H29年度	内容 ①川端康成文学館の運営及び常設展示、企画展の開催、併設ギャラリーでの企画展を開催 ②(仮)いばらき文学賞を開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	24.0	うち市負担分(百万円)	23.5	H30年度	継続
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-3-4	★ 歴史遺産の保存・継承												
19	事業名	千提寺菱ヶ谷遺跡史跡整備事業												
	目的及び概要	千提寺菱ヶ谷遺跡の歴史的資産としての価値を評価するために調査を行い、北部地域活性化の一つの拠点としても活用するため、史跡指定に向けて取り組む。 【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】				H29年度	内容 ①埋蔵文化財確認調査 338万円 ②科学分析 50万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	3.9	うち市負担分(百万円)	1.9	H30年度	完了
													H31年度	-
													H32年度	-
													H33年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名	◎ キリシタン遺物史料館展示充実事業										
	目的及び概要	貴重なキリシタン遺物の収集保存及び国の重要文化財の展示公開を図り、遺物の修復や複製品製作、海外からの来館者に向けたPR映像を制作。	H29年度	内容	①高解像度撮影による史料保存及び複製品製作(絵画系遺物2点) 500万円					事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	5.0	うち市負担分(百万円)	5.0	H30年度	継続
											H31年度	継続
											H32年度	完了
											H33年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
21	事業名	歴史的建造物等保存活用推進事業(神社・寺院など)										
	目的及び概要	歴史的建造物の代表的なものとして神社(81社うち式内社11社)や寺院(105寺)が数多く存在し、本市の風土・文化・景観を形成していることから、市民が歴史的建造物等について理解を深め、地域での保存と活用の取り組みを実行できるよう調査・啓発を行う。	H29年度	内容	①(臨)歴史的建造物調査 82万円					事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.8	うち市負担分(百万円)	0.8	H30年度	臨時拡充
											H31年度	完了
											H32年度	-
											H33年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
22	事業名	文化財保護啓発事業										
	目的及び概要	文化財資料等の調査・保存指導及び歴史・文化財に関する情報の積極的な発信により、市民の歴史文化意識の高揚及び郷土愛の醸成を図り、文化財の保護・啓発を推進する。	H29年度	内容	①各種展示(テーマ展・企画展・コーナー展)の充実 ②文化財説明案内板設置 ③文化財専門研修 ④資料収集のガイドライン作成のための調査研究 ⑤竜王山に関する調査・研究					事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	8.2	うち市負担分(百万円)	8.2	H30年度	拡充
											H31年度	拡充
											H32年度	継続
											H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
23	事業名	史跡郡山宿本陣管理事業										
	目的及び概要	国史跡である郡山宿本陣(樺の本陣)の保存管理計画策定も視野に入れた適切な維持管理による保存に努め、公開事業を通じて市民が歴史遺産の理解と関心を深めることを目的とする。	H29年度	内容	①郡山宿本陣運営及び施設維持管理 619万円					事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	6.2	うち市負担分(百万円)	6.2	H30年度	臨時拡充
											H31年度	継続
											H32年度	継続
											H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

24	事業名	市内遺跡調査内業整理事業													
	目的及び概要	発掘調査成果の公開活用を推進するため、年次計画をもとに未整理の調査記録等を整理し埋蔵文化財の啓発等を行う。				H29年度	内容	①市内遺跡調査・内業整理業務委託 1,707万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	17.1	うち市負担分(百万円)	17.1	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
25	事業名	埋蔵文化財出土品保存活用推進事業													
	目的及び概要	発掘調査による出土品の適正な保存及び活用を図るため、収蔵庫建設を含め分散保管している収蔵庫のあり方や活用方法を研究し、文化財の活用を推進する。				H29年度	内容	①出土遺物台帳等整理作成業務委託 1,415万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	14.2	うち市負担分(百万円)	7.1	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
26	事業名	市史収集資料保存活用事業													
	目的及び概要	市域の歴史資料を市民の共有財産として後世に引き継ぐことを目的として、継続的な史料調査に取り組むとともに、市史編さん過程で調査収集した史料の保存・活用を図る。				H29年度	内容	①地域史料調査の継続 ②収集史料の保存・活用方法の検討 ③HPでの事業成果の公開(美術分野) ④資料目録・システムの整備 ⑤閲覧要綱等の検討 ⑥所蔵資料の一元化 ⑦公開に向けての諸調整(所有者)				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	14.0	うち市負担分(百万円)	14.0	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-3-5	郷土への愛着心とブランド形成													
27	事業名	芸術を活用したまちづくり推進事業													
	目的及び概要	住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】				H29年度	内容	①アートプロジェクトの実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	3.0	うち市負担分(百万円)	3.0	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

28	事業名	【再掲】川端康成文学館運営事業												
	目的及び概要	多くの市民に川端文学に親しんでもらう拠点として、川端康成ゆかりの資料の展示を行うことにより、教養を高め、市民文化の向上に寄与する。 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】				H29年度	内容	①川端康成文学館の運営及び常設展示、企画展の開催、併設ギャラリーでの企画展を開催 ②(仮)いばらき文学賞を開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
							方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	(24)	うち市負担分(百万円)	(23.5)	H30年度	継続
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
29	事業名	【再掲】文化振興事業												
	目的及び概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】				H29年度	内容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホールを利用する事業に補助金を交付 ④子ども対象の体験型芸術講座の開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
							方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	(104.7)	うち市負担分(百万円)	(104.7)	H30年度	継続
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
30	事業名	【再掲】文化芸術振興補助事業												
	目的及び概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組みを行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】				H29年度	内容	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.8)	うち市負担分(百万円)	(0.8)	H30年度	継続
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取組	3-3-4	歴史遺産の保存・継承												
E1	事業名	市史編さん事業(H28年度事業完了)												
	目的及び概要	市民の共有財産である市域の歴史を記録として残すため、市内全域の資料調査を行ない、平成28年度をもって『新修茨木市史』全10巻を刊行した。全巻発刊の記念と編さん事業、及び調査成果を市民に周知するため、同年度中にシンポジウムも実施した。												
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-4	観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくりをすすめる
施策の方向性	茨木市の自然、歴史、文化、地域で生み出される特産品など豊富で魅力的な観光資源を最大限に活用し、市内外の人が訪れて「楽しい」と思ってもらえるよう、観光資源をつなぐ取組を推進します。さらに、観光協会と連携し、幅広い年代に応じた効果的な情報発信を行い、わがまちに誇りを持てる、観光をいかしたまちづくりを進めます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 観光資源の発掘とネットワーク化の推進
	2	観光情報の発信を強化
	3	★ 官民協働で観光事業を推進
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-4-1		★ 観光資源の発掘とネットワーク化の推進										
1	事業名	◎ 観光あるき事業											
	目的及び概要	阪急京都線沿線において、沿線自治体と鉄道事業者が実行委員会を作り、地域の魅力を発信していくことを目的とし、「阪急京都線沿線観光あるき」のPR事業やイベント等を行う。				H29年度	内容 ①パンフレット作成等によるPR事業、ウォーキングイベント事業、沿線でのイベント等を行う。				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
												H30年度	継続
												H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	方向性(対前年度比)	継続		事業費(百万円)	0.2	うち市負担分(百万円)	0.2						
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		
2	事業名	◎ 大阪ミュージアム関係事業											
	目的及び概要	大阪のまち全体をミュージアムに見立て、魅力的な地域資源を発掘・再発見すること等によりまちの魅力を内外に発信することを目的とし、本市にある魅力的な地域資源を大阪ミュージアム登録物として登録し、登録物を活用した観光推進を行う。				H29年度	内容 ①各課から事業提案を募集				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
												H30年度	継続
												H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	縮小
	方向性(対前年度比)	継続		事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0						
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		
3	事業名	◎ 【再掲】資源活用・地域経済活性化実態調査事業											
	目的及び概要	地域経済の活性化へ繋げる「茨木らしい観光施策」について検討するため、「資源活用・地域経済活性化実態調査」を実施する。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】				H29年度	内容 ①他市等の状況調査、研究 ②資源活用・地域経済活性化実態調査の実施 ③実態調査の結果の分析・評価				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
												H30年度	完了
												H31年度	-
												H32年度	-
												H33年度	-
	方向性(対前年度比)	継続		事業費(百万円)	(5)	うち市負担分(百万円)	(5)						
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組	3-4-2 観光情報の発信を強化									
4	事業名	【再掲】観光推進事業								
	目的及び概要	観光振興を図り地域を活性化するため、市内の観光情報の発信を行う。また、各種観光事業を実施している観光協会に補助金を交付し自主的な運営を支援するとともに、その他の関連団体とも連携を図りながら観光事業を推進する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】					H29年度 内容 ①ホームページ等で観光情報の発信 ②観光協会に補助金を交付		事業の方向性の見込み (対前年度比)	
								H30年度	継続	
								H31年度	継続	
								H32年度	継続	
								H33年度	継続	
	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(10.2)	うち市負担分(百万円)	(10.2)	H33年度	継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
5	事業名	【再掲】地域魅力アップイベント創出育成事業								
	目的及び概要	観光の振興及びブランド化を促進するため、観光客の誘致及び市の知名度向上に資するイベントを実施する事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】					H29年度 内容 ①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に対し補助金を交付		事業の方向性の見込み (対前年度比)	
								H30年度	継続	
								H31年度	継続	
								H32年度	継続	
								H33年度	継続	
	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(4.5)	うち市負担分(百万円)	(4.5)	H33年度	継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
6	事業名	【再掲】資源活用・地域経済活性化実態調査事業								
	目的及び概要	地域経済の活性化へ繋げる「茨木らしい観光施策」について検討するため、「資源活用・地域経済活性化実態調査」を実施する。 【関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】					H29年度 内容 ①他市等の状況調査、研究 ②資源活用・地域経済活性化実態調査の実施 ③実態調査の結果の分析・評価		事業の方向性の見込み (対前年度比)	
								H30年度	完了	
								H31年度	-	
								H32年度	-	
								H33年度	-	
	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(5)	うち市負担分(百万円)	(5)	H33年度	-		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

取組	3-4-3 ★官民協働で観光事業を推進									
7	事業名	◎観光推進事業								
	目的及び概要	観光振興を図り地域を活性化するため、市内の観光情報の発信を行う。また、各種観光事業を実施している観光協会に補助金を交付し自主的な運営を支援するとともに、その他の関連団体とも連携を図りながら観光事業を推進する。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】					H29年度 内容 ①ホームページ等で観光情報の発信 ②観光協会に補助金を交付		事業の方向性の見込み (対前年度比)	
								H30年度	継続	
								H31年度	継続	
								H32年度	継続	
								H33年度	継続	
	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	10.2	うち市負担分(百万円)	10.2	H33年度	継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

8	事業名	茨木フェスティバル事業											
	目的 及び 概要	市民意識の高揚とみんなの郷土づくりを推進し、市民の連帯感を高めるため、市・商工会議所・観光協会・青年会議所の4者協働で構成する茨木フェスティバル協会によりイベントを開催する。	H 29 年度	内容 ①南北グラウンド等でのイベントなどを、7月下旬の土・日曜日に開催する。	事業の方向性 の見込み (対前年度比)							H30 年度	継続
					H31 年度	継続							
					H32 年度	継続							
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	11.0	うち市負担分 (百万円)	11.0	H33 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
9	事業名	いばらき光の回廊事業											
	目的 及び 概要	にぎわいを創出し、観光振興を図るため、市・観光協会・商工会議所・青年会議所・商業団体連合会で構成する実行委員会により、イルミネーションによる装飾及びPRイベントを実施する。	H 29 年度	内容 ①年末にJR茨木駅、阪急茨木市駅等でイルミネーションや関連イベントを実施	事業の方向性 の見込み (対前年度比)							H30 年度	継続
					H31 年度	継続							
					H32 年度	継続							
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	26.1	うち市負担分 (百万円)	26.1	H33 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
10	事業名	地域魅力アップイベント創出育成事業											
	目的 及び 概要	観光の振興及びブランド化を促進するため、観光客の誘致及び市の知名度向上に資するイベントを実施する事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】	H 29 年度	内容 ①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に対し補助金を交付	事業の方向性 の見込み (対前年度比)							H30 年度	継続
					H31 年度	継続							
					H32 年度	継続							
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	4.5	うち市負担分 (百万円)	4.5	H33 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
11	事業名	資源活用・地域経済活性化実態調査事業											
	目的 及び 概要	地域経済の活性化へ繋げる「茨木らしい観光施策」について検討するため、「資源活用・地域経済活性化実態調査」を実施する。 【関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】	H 29 年度	内容 ①他市等の状況調査、研究 ②資源活用・地域経済活性化実態調査の実施 ③実態調査の結果の分析・評価	事業の方向性 の見込み (対前年度比)							H30 年度	完了
					H31 年度	-							
					H32 年度	-							
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H33 年度	-	
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-5	都市間の交流と国際化をすすめる
施策の方向性	国内外の姉妹都市を中心とした市民レベルの交流を促し、他地域の文化の理解を深めるとともに、さまざまな分野での文化活動の交流を図ります。さらに、市民の異文化理解活動を支援し、国籍を超えた多彩な交流を進めます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	都市間交流の促進
	2	地域国際化を推進するための環境整備
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-5-1	都市間交流の促進						
1	事業名	姉妹都市等との交流事業						
	目的及び概要	海外や国内の姉妹都市等とのさまざまな分野での市民レベルの交流を促し、他地域の文化の理解を深める。	H29年度	内容	①海外や国内の各姉妹都市等との人的交流(キャンプ交流等)やその他の交流(絵画・書の交換等)の実施 ②国内姉妹都市への宿泊費用補助制度の実施 ③茨木フェスティバル・農業祭での姉妹都市ブースの受け入れ	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H30年度	臨時拡充
							H31年度	継続
							H32年度	臨時拡充
							H33年度	継続
	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	9.1	うち市負担分(百万円)	9.1		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
2	事業名	茨木市国際親善都市協会補助事業						
	目的及び概要	姉妹都市等との交流や、在住外国人・留学生との交流事業を実施する茨木市国際親善都市協会の活動を支援する。 【関連取組:3-5-2 地域国際化を推進するための環境整備】	H29年度	内容	①姉妹都市等への市民訪問団の派遣や、英語スピーチ大会、在住外国人と市民との交流イベント等を実施する茨木市国際親善都市協会への補助	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H30年度	継続
							H31年度	継続
							H32年度	継続
							H33年度	継続
	方向性(対前年度比)	縮小	事業費(百万円)	1.8	うち市負担分(百万円)	1.8		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-5-2	地域国際化を推進するための環境整備						
3	事業名	【再掲】茨木市国際親善都市協会補助事業						
	目的及び概要	姉妹都市等との交流や、在住外国人・留学生との交流事業を実施する茨木市国際親善都市協会の活動を支援する。 【関連取組:3-5-1 都市間交流の促進】	H29年度	内容	①姉妹都市等への市民訪問団の派遣や、英語スピーチ大会、在住外国人と市民との交流イベント等を実施する茨木市国際親善都市協会への補助	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H30年度	継続
							H31年度	継続
							H32年度	継続
							H33年度	継続
	方向性(対前年度比)	縮小	事業費(百万円)	(1.8)	うち市負担分(百万円)	(1.8)		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 地域国際化推進事業								
	目的 及び 概要	市内で生活する外国人が生活しやすいよう、市民ハンドブック等の刊行物の多言語化や、英語対応可能な職員の配置などを行い、外国人も日本人も共に生活できる環境づくりを行う。		H 29 年度	内容 ①多文化共生を推進するにあたって、本市に登録のある外国籍住民にアンケートを送付し、住民のニーズを把握し、外国籍住民にとって住みよい町づくりを推進する	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	拡充
						H31 年度	継続		
						H32 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	2.2	うち市負担分 (百万円)	2.2	H33 年度	継続		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。